

水通信



2023.8.30 第193号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

目次

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。各記事の事業所名をクリックすると目次ページに戻ります。

☆ [【巻頭言】](#) 1 頁

○ 台風到来シーズンを迎えるにあたって

中部支社総務部長 梅村 喜重

☆ [【中部管内水源情報】](#) 3 頁

☆ [【インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』】](#)（番外編） 4 頁

☆ 《新着情報》

[中部支社](#) 8 頁

○ 令和 5 年度中部支社優良工事等の表彰を行いました

[豊川用水](#) 10 頁

○ 地元小学校へ出前授業及び施設見学会を実施しました

○ 慰霊式を執り行いました

木曾川水系連絡導水路 11頁

- エコドライブ講習会を開催しました

愛知用水 11頁

- 間伐材を使った工作教室を開催しました
- 上下流交流会を開催しました

木曾川用水 13頁

- やぎさん除草隊、2023の任務を開始しました！
- 熱中症講習会を開催しました！
- 岐阜大学生現地研修会が開催されました！
- 弥富管理所で保育園の避難訓練が行われました！

岩屋ダム 16頁

- 「岩屋ダム見学会」及び「環境体験学習会」を開催しました
- 「岩屋ダムロックフィルダムフェス」が開催されました

阿木川ダム 17頁

- 阿木川ダム施設見学を通常どおり受け付けています

徳山ダム 19頁

- 徳山ダムでSUP（サップ）体験の試験走行をしました
- サマーキャンプで徳山ダム堤体登坂を実施しました
- 水の週間イベント『徳山ダム特別見学会』を開催しました
- 名古屋市上下水道局 水源地域探検隊が徳山ダムを見学しました

長良川河口堰 22頁

- 桑名水郷花火大会が開催されました！
- 安全運転講習会を実施しました

味噌川ダム 23頁

- 「第36回やぶはら高原はくさいマラソン」が開催されました
- 木祖中学校生徒の職場体験学習を実施しました

三重用水 24頁

- 中里ダム「離郷の碑」の清掃を行いました
- ホタルの飛翔観察と赤川の清掃活動に参加しました

☆ 【編集後記】 26頁

- 担当課 中部支社総務部総務課

巻頭言

○ 台風到来シーズンを迎えるにあたって

中部支社総務部長 梅村 喜重

7月上旬、梅雨前線が対馬海峡付近に停滞したことによる線状降水帯が各地で発生し、特に福岡県久留米市（耳納山）では402.5ミリと24時間の雨量で記録的な大雨となり、福岡県久留米市及び佐賀県唐津市では土砂崩れが発生し甚大な被害が生じました。機構が管理する寺内ダム（福岡県朝倉市）では、7月10日に緊急放流を実施しましたが、ダム下流地域での被害はありませんでした。

また、8月8日発生した台風7号の進路となった三重県や近畿地方においては平年の8月の2倍を超える大雨となり、飛騨川では濁水の発生により木曾川用水白川取水口からの取水を一時停止しましたが、関係利水者のご協力により断水することはありませんでした。今回の豪雨により被災された九州北部地域、秋田県の皆様、台風で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、9月1日は「防災の日」です。関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあり、昭和34年9月26日の「伊勢湾台風」によって、台風災害としては明治以降最多の死者・行方不明者数5,098名に及ぶ被害が生じたことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されました。

古くから二百十日は暦の上で立春から数えて210日目の日で、太陽暦では9月1日ころにあたり、220日目の二百二十日とともに、台風が来襲する特異日とされています。また、統計的にみますと台風来襲の特異日があります。それは9月17日と9月26日で、過去に大きな被害を発生させています。9月16日に来襲した台風は、アイオン台風（昭和23年）、第二室戸台風（昭和36年）で、9月26日は洞爺丸台風（昭和29年）、狩野川台風（昭和33年）、伊勢湾台風（昭和34年）があります。

平成に入ってから、特異日のひとつである9月17日には、上陸こそしませんでした。戦後最大級の台風12号（平成7年）が八丈島付近を通過しています。もうひとつの特異日である9月27日には台風19号（平成3年）が佐世保市に上陸し、28日にかけて足早に日本海を北東に進み（洞爺丸台風と類似コース）ました。この台風により、巖島神社が創建以来初めてといわれる被害を受け、青森県は収穫間近のリンゴが多量に落下するという被害が出ています。

これから台風の到来シーズンを迎えますが、皆さんは災害に対する家庭の備えをされていますでしょうか？首相官邸HPでは、飲料水・非常食3日分、トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなどを備えるように言わ



れています。また、防災週間（8月30日から9月5日）の間中は災害用伝言板の体験利用ができますので、災害時に家族・親類・知人との安否確認ができるよう訓練するほか、災害に備え今一度防災用品のチェックをしてみてもはいかがでしょうか。

【参考】

首相官邸HP 災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう！～

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>

■中部支社から撮影した写真です。

（撮影日時：8月14日正午）

虹のように見えますが、太陽の下に現れているので、虹ではなく、環水平アークという現象のようです。環水平アークは上空に氷の粒（薄雲）があるときに出現し、薄雲はやがて厚みを増して雨が降ることがあるため、「環水平アーク」が見られると天気が悪くなるとも言われています。

実際に、翌日、8月15日に台風7号が上陸しました。



■台風7号の影響でしょうか、名古屋城のお堀沿いに植えられている街路樹の一部が折れてお堀のなかに落ちてしまっています。（8月16日撮影）

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける8月29日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の8月降雨量は平年を下回る状況（平年比29%～123%）となっており、4ダム合計の貯水率は86%（平年比104%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの8月降雨量は、平年を上回る状況（平年比148%～152%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は75%（平年比100%）と平年と同程度の貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける8月の降雨及び利水貯水率（8月29日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	55	98	29	123	148	152	351	189
利水貯水率 （平年比）	64.2 (97.0)	100 (110.1)	95.2 (97.9)	100 (111.0)	59.0 (86.9)	99.1 (109.0)	69.5 (105.7)	100 (100.3)

- ・中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>
- ◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>
- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など
https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou05_1.html

インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』(番外編)

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、豊川用水総合事業部に新規採用として配属された5名の皆さんに、入社した「きっかけ」や業務内容などについてお話を伺いました。

<Profile>



坂尾 明梨奈

Arina Sakao

令和5(2023)年 採用
豊川用水総合事業部総務課
に配属



宮川 彩

Aya Miyagawa

令和5(2023)年 採用
豊川用水総合事業部管理課
に配属



井上 祐樹

Yuuki Inoue

令和5(2023)年 採用
豊川用水総合事業部経理課
に配属



森下 慶

Kei Morisita

令和5(2023)年 採用
豊川用水総合事業部電気通信
課に配属



加藤 隆史

Takamasa Kato

令和5(2023)年 採用
豊川用水総合事業部機械課
に配属

皆さんは水資源機構（以下「機構」という。）に採用されてからまだ5ヶ月ですが、本日はお話を伺えたらと思います。まず、皆さんが機構に入社することになった「きっかけ」を教えてください。

（坂尾）公共性の高い仕事に就きたいという思いがあり、その中でも、水を通して広く国民生活を支えるという機構の役割と社会貢献性の高さに魅力を感じました。

（井上）以前勤務していた自治体で水害を経験し、中でも台風による断水を経験したときに、普段の日常生活で当たり前のように水があることの有難さを実感しました。このことから生活していく上で欠かすことのできない「水」に携わりたいと考えるようになりました。

（宮川）銭湯のアルバイトで水のありがたみを感じていたので、水に携わる仕事がしたいと思い入社を決めました。



■総務課 坂尾さん

（森下）学校に水資源機構の求人がきており、先生が進めてくれたことで初めて水資源機構のことを知りました。それがきっかけで入社を目標にし、今に至ります。

（加藤）日常生活に必要不可欠な水に関わるような仕事がしたく、水の管理を行う機構が希望に合っていたため入社しました。

皆さんの入社後初めての職場である豊川用水ですが現在の仕事の内容を教えてください



■経理課 井上さん

（坂尾）総務課の人事担当として、職員の時間外労働、年休取得の集計、健康診断の取りまとめや直接雇用者の給料計算などを行っています。豊川用水で働く方々が滞りなく日々の業務を行えるための環境作りに携わっています。

（井上）契約事務を担当しています。

（宮川）機構用地の使用承認や境界立会を行っています。

(森下) 設備やデータに異常がないかの日常点検や毎月のデータをまとめて報告する業務を行っています。また、障害対応や業務の打合せなどにも関わること、電気通信課の業務についても勉強しています。

(加藤) 総合事業部管内の機械設備の仕事と、新城支所管理課の維持管理の仕事を行っています。前者は工事の設計積算や発注、現場管理および管内の機械設備の直営点検などで、後者は水路等施設の巡視や設備の操作当番などを行っています。豊川用水は流域や管理区域が非常に広大で、機械設備もゲート・除塵機・ポンプ・バルブなど様々な種類があるので、良い勉強になります。



■管理課 宮川さん

皆さんは入社後まだ5ヶ月ですが、どんなときに「やりがい」や機構に入社してよかったなと思いますか

(坂尾) 徐々に自分でできることが増え、仕事を任されるようになったときにやりがいを感ずります。

先輩方に優しく丁寧に指導いただいているため、とてもありがたく、感謝しています。特に総務課は仕事内容が幅広く、外に出ることもあるため、様々なことに関われる点が良い経験になっていると感じます。

(井上) 組織の規模が大きいため、横の繋がりが増えたことは良かったと思います。

(宮川) 使用承認業務では起案の機会が多いのですが、何段階ものチェックをクリアして施行までたどり着けたときにやりがいを感ずります

(森下) 業務を行っていくなかで学ぶことができた知識を別の業務に活用したり、徐々に打合せ内容が理解できるようになり、業務により深く関わるができるようになるのが一番やりがいを感ずります。

(加藤) 私は現在豊橋市内の寮に居住していますが、豊橋市も豊川用水の受益地で農業用水が寮の目の前に流れています。朝出社するときには、なみなみとした水が流れている用水路や青々とした田んぼの横を通ります。そのときに自分の仕事が社会の役に立っているんだなと実感します。

皆さんは、慣れない職場環境かと思いますが、休日はどのように過ごしていますか、また、趣味やストレス解消法があれば教えてください



■電気通信課 森下さん

(坂尾) 休日は、部屋の片付け、掃除などをしてから買い物に行くことが多いです。初めて来た土地なので、愛知県内を散策しに出かけることもあります。普段は、音楽を聴くことでリフレッシュしています。

(井上) 好きな動画を見えています。着任してからはできていませんが、ダンスが趣味なのでこれからできたらと思います。

(宮川) 母と通話したり、音楽を聞いたり、自宅でゆっくり過ごしています。

(森下) 地元で働けていることもあり、休日は友人と遊んだりしています。また、ゲームや映画鑑賞をしたり、料理も好きなので節約もかねて次週の昼ご飯を作るなど、ストレス解消をしています。

(加藤) 休日はランニングやウォーキングし、体を動かすことによりストレス解消やリフレッシュ、健康に気がつかっています。

お忙しいところどうもありがとうございました。

皆さんにはこれから多くの経験を積み、周囲から頼られる職員となるよう成長を期待しています。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに应邀いただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します



■機械課 加藤さん

《新着情報》

中部支社

○ 令和5年度中部支社優良工事等の表彰を行いました

7月21日（金）、中部支社において、令和5年度中部支社優良工事等表彰式を執り行いました。

本表彰制度は、水資源機構発注の工事等を受注し、その成果及び工事等の取り組み姿勢が特に優秀で他の模範となる工事等を選定し、受注者を表彰することによって、技術力の向上を図り円滑な事業推進を期待するものです。

表彰は、優良工事表彰及び優秀工事技術者表彰、優良業務表彰及び優秀技術者表彰、安全管理優良工事表彰の5区分となっています。

令和5年度は、中部支社管内事業で令和4年度に完成した工事等のうち、中部支社長表彰として優良工事2件、優良業務4件、優秀技術者4名の表彰を行いました。

表彰結果は、次のとおりです。

【優良工事表彰（支社長表彰）】

事業所	工事名	受賞業者
岩屋ダム管理所	原石山法面对策工事	馬瀬建設（株）
三重用水管理所	三重用水水管理制御処理設備工事	日本無線（株）中部支社

【優良業務表彰（支社長表彰）】

事業所	業務名	受賞業者
阿木川ダム管理所	阿木川ダム堆砂状況調査業務	日本ミクニヤ（株）
三重用水管理所	三重用水水質調査業務	（株）テクノ中部
徳山ダム管理所	環境調査検討業務	（株）建設環境研究所 中部支社
三重用水管理所	三重用水幹線水路青川サイホン外機能 診断調査等業務	（株）ダイヤコンサルタント 中部支社

【優秀技術者表彰（支社長表彰）】

事業所	業務名	受賞技術者名	所属業者名
阿木川ダム管理所	阿木川ダム堆砂状況調査業務	西本 秀明 (主任技術者)	日本ミクニヤ (株)
三重用水管理所	三重用水水質調査業務	吉田 謙 (主任技術者)	(株) テクノ中部
徳山ダム管理所	環境調査検討業務	市村 文昭 (主任技術者)	(株) 建設環境研究所 中部支社
三重用水管理所	三重用水幹線水路青川サイホン外機能診断調査等業務	土本 浩二 (管理技術者)	(株) ダイヤコンサル タント 中部支社



■優良工事支社長表彰受賞者



■優良業務及び優秀技術者支社長表彰受賞者



ブレイクタイム 四字熟語

【 右顧左眄 】(うこさべん)

・右を見たり左を見たりして、ためらい迷うこと。また、まわりの情勢や周囲の思想・意見を気にして、なかなか決断できないでいること

豊川用水総合事業部

○ 地元小学校へ出前授業及び施設見学会を実施しました

地元新城市の東陽小学校4年生を対象として、6月30日（金）に出前授業及び7月5日（水）に大野頭首工見学会を開催しました。出前授業では教室にある大型モニターを用いて、「私たちはどのように水を利用しているのか。豊川用水はなぜあるのか。大野頭首工は豊川用水の中でどんな役割を持っているのか。」という内容で授業を行いました。児童の皆さんは魚道について気になったようで「どんな魚がいますか？」などの質問がありました。

大野頭首工見学会では、出前授業で話したことを振り返りながら魚道やゲート建屋（貯水池面から約15mの高さ）から大野貯水池を見学していただきました。ゲート建屋からは東陽小学校も見え、普段は見られない眺望を楽しんでいました。



■小学校での出前授業



■大野頭首工見学会

○ 慰霊式を執り行いました

7月25日（火）東部幹線水路二川チェック横の慰霊碑にて慰霊式を執り行いました。この慰霊碑は、豊川用水建設にあたり、不慮の事故にたおれ不帰の客となられた一六の霊が安らかにならんことを祈り、昭和43年8月に愛知用水公団により建立されました。



■慰霊碑

木曾川水系連絡導水路建設所

○ エコドライブ講習会を開催しました

水資源機構では事業の実施に伴って環境に影響を及ぼす諸活動を把握・改善するため、独自の環境マネジメントシステム（W-EMS：ウィームス）を運用しています。当建設所では当該マネジメントシステムを運用するに当たって「公用車運転時の排気物質削減」という項目を取り組み内容の一つに掲げており、その活動の一環として8月1日（火）にエコドライブ講習会を開催しました。

本講習会は動画の視聴形式により行い、その中ではエコドライブのポイントとして「ゆっくりアクセルペダルを踏む」「車間距離を詰めすぎない」等が挙げられ、参加者も注意深く聞き入っていました。

当事務所では今後も引き続き、エコドライブ等の取組を通じて排気物質削減に努めていく所存です。



■講習会の様子

愛知用水総合管理所

○ 間伐材を使った工作教室を開催しました

7月27日（木）に愛知用水総合管理所が所在する地域のゴミの収集及び処理を行う尾三衛生組合（日進市、みよし市、愛知郡東郷町）が主催する小学生を対象としたリサイクル体験学習教室の全8コマのうちの1コマを利用させていただき、牧尾ダムの間伐材を使用してメダルを作る教室を実施しました。

最初に愛知用水の水源が牧尾ダムであることを説明し、水源の森を守るために間伐が必要で、この間伐材を使用して工作を行うことを理解していただきました。

間伐材をノコギリで切る作業を参加者自らがを行い、サンドペーパーで表面を磨き好きな絵を描いて紐を付けて完成となります。

参加したみなさんは、夏休みの宿題の工作がこれで完成したと喜んでいました。



■間伐材を切る体験



■好きな絵を書いてメダル作り

○ 上下流交流会を開催しました

8月7日（月）に愛知用水事業推進協議会を構成する市町の子供たちが水源である牧尾ダムを訪ね、地元王滝村と木曽町の子供たちと交流する上下流交流会を実施しました。このイベントは平成5年度から継続して実施していますが、コロナの影響で4年ぶりの開催となります。

愛知用水事業推進協議会は愛知用水受益地域の29市町で構成されており、今回は愛知県知多郡武豊町の武豊小学校の子供たち10名が牧尾ダムを訪ね、王滝村の王滝小学校2名、木曽町の三岳小学校3名の子供たちと「シカチーム」と「リスチーム」の2班に別れ、施設見学等を行いました。



■魚の放流の様子

午前中は操作室や放流設備の見学で説明を熱心に聞き、あまり体験する機会のない魚の放流を行い、午後からは各校生徒が事前に作成したパワーポイントや説明資料を使って各地域の特色などを紹介してもらい、その後の木工教室では間伐材を使用したメダルや、缶バッジを作成しました。最後に全員で記念植樹を行い、上下流のお菓子の交換、記念撮影をして終了となりました。会場を出発する際は、みなさん笑顔で手を振って分かれましたが夏休みの楽しい一日になったと思います。

施設見学は多数の申込をいただき実施していますが、上流と下流の子供たちが交流できる行事は貴重なものとなっていますので、今後も可能な限り継続して実施していきたいと思えます。



■木工教室メダル作成の様子



■参加されたみなさん

木曾川用水総合管理所

○ やぎさん除草隊、2023の任務を開始しました！



お待たせしました。木曾川用水総合管理所美濃加茂管理所所属のヤギさんによる「除草隊」です！！ 令和5年度も大活躍で、草がのび始める5月上旬からと、9月頃の年2回「草を食べる」という特命な任務です。

上飯田調整池及び蜂屋調整池の堤体において、今年も5月下旬より日々「草を食べる」という任務を遂行しました。

昨今の異常な外気温の上昇により、ヤギ除草隊においても熱中症に留意し任務を行いました。9月にも任務にあたりますので、皆様、ご声援のほどよろしくお願いします！



■特命係の杉下ヤギです



■任務に集中しているヤギたち

○ 熱中症講習会を開催しました！

6月16日（金）に、公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会の社会貢献の一環として、「鈴木労働衛生コンサルタント事務所 鈴木史香医師」による熱中症講習会が木曾川用水総合管理所で開催されました。

このテーマは非常に関心が高く、木曾川用水の職員、工事・業務の受注者を含めて、58名が受講されました。

熱中症対策は塩分を含んだ水分補給、温度の他、湿度も考慮する必要性（暑さ指数 WGBT）、作業環境の整備、休憩などに配慮する必要があります。また、熱中症にならないため、また重傷化させないため、作業前の体調の確認や、作業中の他者への配慮などが必要であることについて最後に講師から説明がありました。

熱中症は、紀元前から記録されており、人類の活動と密接に関わっており、一人ではなく全員で考えていかなければならないことです。



■講習会の様子。Webで参加されている方も多数います。



6月16日撮影

■木曾川用水総合管理所のモニュメント付近で蓮根の花が開花しました。

○ 岐阜大学生現地研修会が開催されました！

6月26日(月)、岐阜大学応用生物科学部の現地研修会で学生32名が木曾川大堰を訪れました。

岐阜大学応用生物科学部では、東海農業土木事業協会と連携協力して、人々が生きていくための食と農業、及びその生産環境を守るために必要となる技術開発と人材育成を図ることを目的として「現地研修会」が授業の中で行われています。

今回は、東海農業土木事業協会からの要請で、木曾川用水総合管理所及び木曾川大堰を研修場所として提供し、学生に農業農村整備事業に係る仕事の内容と状況を研修することが目的となっています。

また当日は、木曾川大堰のほかに、愛知県営たん水防除事業「新立田輪中地区」、国営尾張西部土地改良事業「日光川河口排水機場」、及び海部土地改良区が運営している「水の館」において現地研修を行いました。

木曾川用水では、最初に所長から水資源機構の概要と中部支社管内の農業農村整備事業について説明し、管理課長から木曾川用水の概要について説明した後、木曾川大堰左岸魚道と操作室の2班に分かれ、交互に木曾川用水の若手職員が施設の説明を行いました。



■概要説明の様子

あいにく、魚道では魚の遡上がほとんどなく、学生の皆さんに魚の遡上を確認していただくことはできませんでしたが、施設を見学いただいたことで、木曽川大堰の役割や木曽川用水が実施している環境配慮の取組について十分に理解していただけたと思います。



■ 操作室での説明の様子



■ 魚道見学の様子

○ 弥富管理所で保育園の避難訓練が行われました！

木曽川用水と弥富市は災害時における「津波・高潮緊急時避難場所」としての使用に関する協定を締結しており、弥富管理所は津波災害の発生又は発生の恐れがある場合の一時避難場所に指定されていることから、7月28日（金）、当管理所で保育園の避難訓練が行われました。

今回の避難訓練は、管理所近隣の保育園から保育士及び園児ら総勢18名が避難場所である弥富管理所までの移動訓練及び管理所で園児を連れて管理棟まで上がり、点呼や避難場所の確認等の訓練が行われていました。今後も地域で行われる行事等への協力など地域貢献にも努めてまいります。



■ お散歩カートで来所



■ 避難場所へ移動

岩屋ダム管理所

○ 「岩屋ダム見学会」及び「環境体験学習会」を開催しました

7月19日（水）、下呂市立金山小学校4年生の皆さんを対象にダムの役割や構造等を学習してもらうことを目的とした「岩屋ダム見学会」を、続く8月4日（金）には、地元を流れる河川である馬瀬川（まぜがわ）において、河川環境の大切さを知ってもらうことを目的とした「環境体験学習会」を開催しました。

岩屋ダム見学会では、パワーポイントを用いたダムの役割等についての説明を行い、その後ダム堤体へ移動し実際にダムの大きさ、高さを肌で感じてもらったほか、ゲート室内の巨大な機械も見ってもらうことで、驚きと共に座学で学んでもらったダムの役割等についてより理解を深めてもらいました。

環境体験学習会では、職員指導のもと実際に河川に入り、河川生物の採取等を行うことで生息生物の種類や生息環境の確認し、併せて採取した水質の調査を行うことで、普段身近にある馬瀬川がいかにかきれいな川であるかを知ってもらいました。学習会の最後には馬瀬川下流漁業協同組合の皆様にご協力いただいたアマゴを放流することで、河川環境への理解、関心を深めてもらうことができました。



■ ダム施設の見学風景



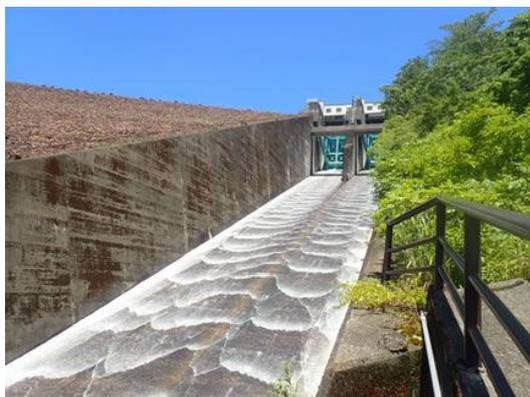
■ アマゴ放流の様子

○ 「岩屋ダムロックフィルダムフェス」が開催されました

7月30日（日）、下呂市が中心となり岩屋ダム水源地域ビジョン協議会関係者協力のもと「岩屋ダムロックフィルダムフェス」が4年ぶりに開催されました。

当日は県内外から約400名のお客様がお越しになり、岩屋ダム洪水吐から3回の点検放流を実施したほか、木曾川用水取水・送水施設の建設に関わる2本の秘蔵フィルムを上映し、普段見ることができない施設が完成するまでの様子も見ていただきました。

また、ダム直下の岩陰公園では、協議会構成機関の皆様による金山巨石群ガイドツアーや、郷土料理の五平餅などがキッチンカーにて販売されたほか、中部電力パワーグリッド（株）による電気自動車の展示や発電の体験ブースが用意され、子供から大人まで1日楽しんでいただきました。



■ ゲート放流の様子



■ 放流の見学者

阿木川ダム管理所

○ 阿木川ダム施設見学を通常どおり受け付けています

今年度に入りコロナ感染症の扱いが第5類となったことで、恵那市内の各小学校や、一般団体からの施設見学の申込みが相次ぎました。

6月20日（火）には恵那市立大井小学校4年生児童50名を、6月27日（火）には恵那市立三郷小学校4年生23名に、阿木川ダムの役割と水の使われ方について説明し、水を大切に使うためのアドバイスをを行いました。

各小学校には、事前にパンフレットを持ち込み、阿木川ダムに関する質問のとりまとめを頂いておりましたので、当日にはその回答説明も実施しました。

見学では、概要説明の他に日頃見ることのできない水力発電設備のあるダム内部を見学し、集合写真撮影を行い、よい記念になったと思います。

8月31日（木）には、阿木川ダム直下の恵那市立東野小学校からも施設見学の希望があるので、他小学校と同様に対応し、阿木川ダムの役割と目的を正しく理解してもらうとともに、ダム内部を見学する貴重な体験を経て、楽しい思い出になることを願っています。



■大井小学校 見学対応



■三郷小学校 見学対応

また、小学校の施設見学のほかに「みずなみかたりべの会」、「尾張旭市民」など一般の方の見学も、3件の申込みがあり対応しました。

阿木川ダムとしては、多くの方々に水資源機構と阿木川ダムの重要性について理解を深めていただくべく広報PR活動を積極的に行ってまいります。

阿木川ダム施設見学申込み（団体）は、阿木川ダムHP内の施設見学申し込みからお願いします。

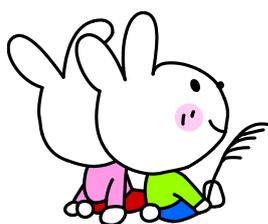
<https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/>



■みずなみかたりべの会 見学対応



■尾張旭市民 見学対応



徳山ダム管理所

○ 徳山ダムでSUP（サップ）体験の試験走行をしました

7月20日（木）、徳山ダムでSUP（スタンドアップパドル）体験の試験走行を実施しました。

アウトドア事業専門業者が揖斐川町とともに、徳山湖でSUPを行うことが出来るか実際にボードを浮かべて、パドルを漕いで確認をしました。

日本一の総貯水容量を誇る徳山ダムで、ゆったりとSUP体験ができるように準備を進めています。まだまだ始めたばかりで、試験的な運営ではありますが、今後の動向に期待が高まります。



■ SUP試験走行の様子

○ サマーキャンプで徳山ダム堤体登坂を実施しました

揖斐川町が主催のサマーキャンプのプログラムで、7月29日（土）に徳山ダムの堤体登坂体験を実施しました。

夏休みに家族で徳山ダムを登るといふ、普段なかなか経験できないようなことを出来た参加者からは、『楽しかった！』『キツかったけど、普通体験出来ないことが出来た！良かった！』という感想をいただきました。

ゴールのダム堤体上では、登坂証明に記念缶バッジをプレゼントしました。

堤体登坂体験の後は、ダム下流にある『生命の水と森の活動センター』周辺で親水体験や自然観察会にも参加されました。

今年の夏休みの良い思い出の一つに、徳山ダムが入ったら嬉しく感じます。



■ 堤体登坂の様子



■ 参加された皆様

○ 水の週間イベント『徳山ダム特別見学会』を開催しました

「水の日（8月1日）」「水の週間（8月1日～7日）」に合わせて、8月5日（土）徳山ダム特別見学会を開催しました。

普段何気なく使っている水の大切さや、水資源開発の重要性など水に関する啓発活動の一環として行っております。

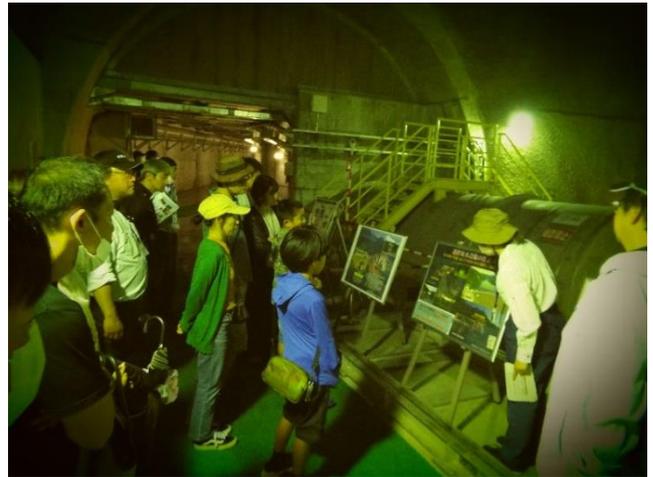
今回は、事前予約制で職員によるダム施設や設備の案内付きの見学の他に、当日申込でダム内部を自由に散策いただく自由見学の2種類の見学を用意しました。

その他には、建設時に使用していた作業道路からダム湖と洪水吐きを見学することの出来る場所と建設時のリムトンネルも開放して、普段見ることの出来ない徳山ダムを体感いただけたと思います。

事前予約と当日申込合わせて256名の方々にダム内部を見学いただきました。見学者の方からは、「ダム内の温度が、年間を通して10度ほどということに驚いた。」や「ダムの仕組みについて学ぶことが出来た。」など様々な感想をいただきました。真夏の堤体上を歩いてダム内の見学にご参加いただき、ありがとうございました。



■見学会受付の様子



■堤体内での説明の様子

○ 名古屋市上下水道局 水源地域探検隊が徳山ダムを見学しました

8月9日（水）、名古屋市上下水道局の給水区域に在住の小学生と保護者あわせて55名が徳山ダムまで来ていただきました。

水源地域探検隊のみなさまには、職員による案内で徳山ダム（利水放流管ゲート室、監査廊、建設時のリムトンネル、選択取水設備）の見学を行いました。午後からは『生命の水と森の活動センター』に場所を移し、水源地の自然学習教室、木工体験（木の実ストラップ作成）丸太切り体験をしていただきました。

皆さんはダム構造や設備の説明を熱心に聞かれ、ダムに関するクイズでは元気よく答え、さらに「将来は、徳山ダム（水資源機構）で働きたい！」と言ってくれた子たちも居て、とても嬉しく感じました。

徳山ダムで見て感じて体験したことが、これからの生活に役立てばと思います。



■ 監査廊見学の様子



■ 選択取水設備見学の様子



■ センターにて環境学習の様子



■ 丸太切り体験の様子



ヘレン ケラー

ブレイクタイム 名言、格言

【 ヘレン ケラー 】

・自分の欠点を直視し認めることです。ただし欠点に振り回されてはいけません。忍耐力、優しさ、人を見抜く目を欠点から学びましょう。

長良川河口堰管理所

○ 桑名水郷花火大会が開催されました！

7月29日(土)に「水郷のまち・くわな」において、「桑名水郷花火大会」が開催されました。

管理所に近い揖斐川の中州より打ちあがることから、アクアプラザながら周辺も含め、長島側の堤防沿いには花火の観覧目的の人々が大勢集まり、観覧している人々の楽しげな様子がとても印象的でした。そして、花火で浮かび上がった長良川河口堰も素敵でした。

この桑名水郷花火大会では、約10,000発の花火が夜空と川に浮かび、ひとことでは表せない美しさが人々の心を魅了しました。打ち上がった花火にそれぞれの思いを乗せて、「ありがとう」。



■花火で浮かび上がった長良川河口堰

○ 安全運転講習会を実施しました

三重県交通安全講習センターでの安全運転の座学講習及び実技による体験型研修を受講しました。

「参加・体験・実践」型の研修では、交通事故から身を守る知識の習得とそれを実践する技術を身に付け、屋外での自動車体験では、実車による滑りやすい路面での急制動や安全運転基本チェックなど危険回避の方法等を学びました。また、運転・歩行能力訓練、視力・動体視力検査・動体認知診断、運転シミュレータ等を屋内で体験しました。

毎日、自家用車や管理所の作業車を運転していることから、今回の研修で学び体験したことを生かし正しい運転行動が習慣となるよう、今後も安全運転を継続していきます。



■滑りやすい路面での急ブレーキ体験



■運転シミュレータ

味噌川ダム管理所

○ 「第36回やぶはら高原はくさいマラソン」が開催されました

今年も味噌川ダム周回道路が一部コースとなっている「第36回やぶはら高原はくさいマラソン大会」が7月2日（日）に開催され、当管理所からも職員数名が給水スタッフ等で協力しました。

また、当管理所独自で製作した簡易ミストシャワーを今年も管理所前に設置し、参加選手から「涼しい！」と好評をいただきました。

マラソンには当管理所職員がハーフの部に2名選手として出場し、起伏が激しいコースを気温30℃前後の炎天下の中、走るのはとても辛そうでしたが、それでも21kmの過酷なコースを走り、2人とも無事に完走を果たしました！

2人とも昨年出場した時よりもタイムを縮める事ができたようで、ゴール後とても満足げでした。

体力に自信がある方もしくはやぶはら高原はくさいマラソンに興味を持っている方、是非来年エントリーしてみてください！



■給水スタッフとして協力



■管理所オリジナルミストシャワー

○ 木祖中学校生徒の職場体験学習を実施しました

7月28日（金）、地元木祖村にある木祖中学校より4名の生徒が味噌川ダム管理所で職場体験学習を行いました。

主ゲート室や機械室等の各施設の見学・機械点検等の体験を行い、職員のサポートのもと一生懸命に仕事内容を覚えていました。

当管理所での職場体験学習が、自身の将来に少しでも役に立てればと思います。



■仕事内容等について説明を受ける中学生



■設備点検の体験中

三重用水管理所

○ 中里ダム「離郷の碑」の清掃を行いました

7月2日（日）に、管理所職員と利水者の三重用水土地改良区の職員及び旧深尾地区のみなさまと一緒に、中里ダム「離郷の碑」の清掃活動を行いました。

三重用水事業のために移転された28戸のご協力により、中里ダムは昭和47年3月に着工し昭和52年3月に完成しました。この「離郷の碑」には、故郷を離れる思いを「移転の犠牲によって満々とダムにたたえられた精冽な水が、願わくば世の多くの人たちを潤す水とならんことを。さらばふるさと。」と刻まれています。

三重用水に勤務する職員一同、いつまでも感謝の気持ちを忘れずに日々の管理に努めてまいります。



■ 「離郷の碑」の清掃の様子



■ 清掃後の集合写真

○ ホタルの飛翔観察と赤川の清掃活動に参加しました

三重用水管理所では、毎年5月中旬から6月末にNPO法人「マこもの里自然に親しむ会」が実施しているホタル飛翔観察会に職員全員で参加しています。今年も赤川では、多くのホタルの飛翔が確認され、きれいな水、ホタルが生息する環境が維持されていることを確認しました。また、7月7日（金）にはホタルの生息する赤川の清掃活動を行いました。

これからも水辺の生物たちが赤川で元気に生息出来るよう、NPO法人と協働し定期的に赤川の清掃活動に取り組んでいきます。



■赤川で捕獲されたホタル



■赤川の清掃活動の様子



ブレイクタイム ことわざ

【 道は邇きに在りて遠きに求む 】

(みちはちかきにおいて、とおきにもとむ)

・難解なことを探求し続けたがために、近くにあった大切なことを見落としてしまうということ。

☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	https://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社